

2015年1月9日



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	2.7060	2.7010	2.6830	2.6630	2.6330	-0.0300
	BRL/JPY	Spot	44.05	43.92	44.37	44.94	45.01	+0.0700
	EUR/USD	Spot	1.1939	1.1908	1.1843	1.1784	1.1840	+0.0056
	USD/JPY	Spot	119.51	118.65	119.02	119.68	118.64	-1.0400
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.59	12.52	12.52	12.49	12.50	+0.0093
	Future	1Year(p.a.)	12.81	12.76	12.73	12.72	12.70	-0.0244
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.303	2.088	1.958	1.750	1.495	-0.255
	USD	1Year(p.a.)	2.731	2.564	2.401	2.259	2.050	-0.209
株式	Bovespa指数		47,516.82	47,734.39	49,462.91	49,943.30	48,840.25	-1,103.05
CDS	CDS Brazil 5y		225.67	222.00	212.50	206.50	204.33	-2.1700
商品	CRB指数		226.727	225.416	225.055	225.880	225.571	-0.3091

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のドルレアルは2.7110で寄り付いた。ロシアの生産増加とイラクの輸出増加計画を受けて、原油市場で供給過多の状態が長期化すると観測から原油価格が下落すると、エネルギー株中心にボベスパ指数が軟調推移した。原油安に加えてギリシャの政局不安やロシアの格下げ懸念などを背景に世界的にリスク資産売りの動きがみられ、レアルは週間安値となる2.7290を示現した。
- 週央には値頃感から原油価格が反発し、レアルも堅調に転じた。また、FOMC議事録が公表され、新味には欠けるものの、早期利上げ期待を後退させる内容であったことからドルが売られた。レアルは2.67台まで買われた。
- ECBのドラギ総裁が欧州議員に宛てた書簡が公表され、ECBがソブリン債購入導入を含む金融刺激措置の調整を行う可能性が示されると、ECBがQEに踏み切るとの期待感が高まり、欧州株主導で株式が全世界的に上昇した。
- 週末にかけては米雇用統計が発表され、NFPや失業率は市場予想を上回ったが、平均時給が予想外のマイナスになったことからドル買いは限定的となった。原油が再び下げに転じたことから株式市場が軟調に転じ、ボベスパ指数が急落した。しかし、トビニ伯中銀総裁がCPIを2016年までに4.5%まで下げるために必要なことを実施していくとコメントしたことからレアルは買われ、週間高値となる2.6270をつけ、結局2.6330でクローズした。

3. 今週のチャート&ハイライト



原油価格が続落

OPECなど産油国側に減産の動きが見えない中、世界的な供給過剰の状態が続くと懸念が根強く、原油価格が続落した。NYMEXの原油先物相場はWTIの2月渡しが時間外取引で一時バレル当たり46.83ドルまで下落した。これは2009年4月以来5年8か月ぶりの安値。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さい。宜しくお問い合わせ下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



4.来週の為替市場注目点

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

予想ドル・レアル相場レンジ：2.58－2.70

来週は大きなイベントがなく暫くは今週の流れを引き継いでレアルの戻り高値を試す流れが続く可能性もあるが、原油価格の下落に底が見えない中、レアルは再び軟調に転じる可能性が高いと見ている。今週はECBが1月22日の理事会でQE導入に踏み切るとの期待感が高まり、一時リスクオンの流れに向きかけた場面もあったが、ロシアやギリシャなどのリスクオフ方向の材料が解消されておらず、リスク資産売りの流れは容易には反転しないだろう。新政権による財政改革や中銀によるインフレ対策に期待する声もあるが、具体的な内容は示されておらず、レアルのサポート材料としては未だ弱い。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	0.78%	0.78%	0.51%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	6.42%	6.41%	6.56%
米	非農業部門雇用者数変化	240K	252K	353K
米	失業率	5.7%	5.6%	5.8%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	1/12	貿易収支(週次)	Dec	--	U\$355M
ブラジル	1/13	FIPE CPI-週次	Nov	--	0.42%
ブラジル	1/14	小売売上高(前月比)	Nov	-0.50%	1.0%
ブラジル	1/14	登録雇用創出合計	Nov	--	8381
米	1/14	小売売上高(前月比)	Dec	-0.1%	0.7%
ブラジル	1/15	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Nov	0.45%	0.98%
ブラジル	1/15	経済活動(前月比)	Nov	0.15%	-0.26%
ブラジル	1/15	税收	Dec-21	--	R\$104470M
米	1/15	PPI最終需要(前月比)	Dec	-0.4%	-0.2%
ブラジル	1/16	FGV CPI IPC-S	Jan-01	--	0.96%
ブラジル	1/16	CNI設備稼働率(季調済)	Dec	80.5%	80.6%
米	1/16	消費者物価指数(前月比)	Dec	-0.4%	-0.3%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。